

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3F・Tel:(072)223-2300番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 「天兆閣」別館4F Tel:(072)222-0131番(代表)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

ガバナー(第2640地区) :

ガバナー事務所 URL :

E-mail :

会長:坂田兼則 幹事:藤永 誉 広報委員長:山ノ内修一 編集者:池田茂雄

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

## 創立35周年記念 週報特別号



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a Gift to the World

国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン (スリランカ・コロンボRC)



## 創立 35 周年記念式次第

平成 27 年 9 月 26 日  
於いて、北海道登別温泉

### 第一部 記念式典及び例会 6 : 30 ~ 7 : 00

- |               |             |
|---------------|-------------|
|               | 司会 SAA 池永隆昭 |
|               | 会長 坂田兼則     |
| 1. 点 鐘        |             |
| 2. 国家斉唱・歌     |             |
| 「君が代」・「奉仕の理想」 | ソングリーダー     |
| 「堺北ロータリーの歌」   | 山ノ内修一       |
| 3. 物故者に黙祷     |             |
| 4. 開会の挨拶      | 35 周年実行委員長  |
|               | 堀畑好秀        |
| 5. 会員家族の紹介    | SAA 池永隆昭    |
| 6. 出席報告       | 出席委員 國井 豊   |
| 7. 会長の挨拶      | 会長 坂田兼則     |
| 8. 表彰状・感謝状授与  | 会長 坂田兼則     |
| 9. 閉会の挨拶      | 副会長 辰 正博    |
| 10. 点 鐘       | 会長 坂田兼則     |

### 第二部 記念祝賀会 7 : 00 ~ 9 : 00

- |                |             |
|----------------|-------------|
|                | 司会 SAA 池永隆昭 |
| 1 開宴の挨拶        | 親睦委員長 城岡陽志  |
| 2. 乾 杯         | 直前会長 山ノ内修一  |
| 3. アトラクション     | 「北海太鼓ショー」   |
| 4. お礼の言葉と閉宴の挨拶 | 会長 坂田兼則     |

「堺北ロータリークラブ  
35周年記念式典 開会挨拶」

35周年実行委員長 堀畑好秀

お昼はウィンザーホテルにて美味しいワインを、戴きながらの堺北ロータリークラブの昼食サミットご満足いただきましたでしょうか。会場を離れ難い思いで出発しました。

この度35周年実行委員長を拝命しております堀畑でございます。

本日は、北海道登別温泉での創立35周年記念式に早朝より57名に上の会員ご家族の皆様方にご出席いただき、盛会の中に開催できます事を心より厚くお礼申し上げます。

創立35周年記念式典並びに懇親会を兼ねての開催でありますので、ご家族の皆様にも、ロータリーを理解していただく為にロータリークラブの歴史について少し触れてみたいと思います。

時は、1905年に戻ります、「ポール・ハリス（弁護士）をはじめ、ローア（鉱山技師）、シルベスタシール（石炭商）、ショーレ（洋服商）」ポール・ハリスを中心として4人の仲間がイリノイ州シカゴ ディアボーン街のビルの一室に集まりました。

当時 アメリカ社会は、荒れすさんだ暗黒の時代でありました。

「職業を通じて、胸襟を開いての 何でも話しあえると友人が欲しい」と集まったのがロータリークラブのディアボーン街の発祥となります。

今では世界中に広がり120万人もの多くのロータリアンが誕生しています。

私共、堺北ロータリークラブも昭和55年10月8日承認され、31人の友が集まり、（堺ロータリークラブを親クラブとして）創立致しました。35年の歴史を振り返る時、10周年までは、クラブ全員が出席率100%を目指しその偉業を成し遂げました。又、20周年では、堺北ロータリークラブの基金を設立し、奉仕活動への基盤を築くと共に、社会福祉協議会に広報車を寄贈致しました。

又、30周年では、大仙公園に河津桜を植樹致しましたが、春が来ると一足早く市民の目を楽しませてくれるものと思います。

なかでも平成6年より始まった仁徳天皇陵の清掃活動は、今日では沢山の方に参加頂き、世界文化遺産の国内推薦を目指しているところです。

堺北ロータリークラブの皆様には、世界遺産国内推薦におけるご協力ご支援をお願い致します。

又この11月には第5回目の囲碁フェスタが開催され、児童擁護施設「清心寮」へのご奉仕活動 2011年8月25日 台風第12号による紀州半島大水害には身をもって支援活動を行いました。タイでの世界社会奉仕活動と数多くの人との出会いがあり、思い出に残る奉仕活動を通じて 素晴らしい感動を味わって参りました。

「人生は感動であります。そして感動は人との出会いなり。出会いは、求めるところあり」といわれます。

35年を振り返る時、「ロータリーがあってこそ」「我がクラブがあってこそ」この様な素晴らしい活動が皆さんと共に出来ました。

これからもロータリークラブを通じて、素晴らしい友愛の精神を培いながら、奉仕の理想に燃え、「ロータリーの道」を極めてまいりたいと思います。

35周年を節として40年・50年に向かって堺北ロータリーの輪を大きく広げて参りたいと思います。

結びに本日ご参加いただきました皆様のご健勝とご多幸、堺北ロータリークラブの益々の発展を祈念しご挨拶と致します。

「 会長挨拶 」

会 長 坂田兼則

ここに堺北ロータリークラブ創立35周年を迎えまして、ご挨拶申し上げます。

本35周年記念におきましては、いつもの来賓をお迎えしてのホテルでの式典はやめて、会員・家族の皆様にごろの当クラブへの参加・御協力に感謝しまして、気兼ねなく楽しんでいただこうと思い、会員・家族による本日の北海道一泊旅行といたしました。

当クラブは、1980年・昭和55年10月に堺で6番目のロータリークラブとして、(七)別所重秋様を初代会長として会員数32名で誕生いたしました。

5年前の宇瀬会長のときの会員数は、会員35名・名誉会員2名でありましたが、5年の間に13名の会員が退会され、又9名の新しい会員が入会されました。

当クラブの最も会員数が多いときの創立9年目・10年目には59名の会員がおられました。諸般の事情から会員数は減ってきておりますが、本年9月からは、新しい例会場と新しい事務局に変わりました。

これを期に本年よりはより一層仲良く・元気で明るいクラブを目指してクラブ運営を行っていき、多くの新入会員が入っていただけるような、魅力あるクラブになるよう役員一同がんばっていく所存でありますので、会員・家族の皆様におかれましては、今後共より一層の御支援・御鞭撻のほどお願いいたしまして、会長の挨拶といたします。

本日は多数の御参加有難うございました。

「 閉会の挨拶 」

副会長 辰 正博

本日は会員ならびに御家族の皆様にご多数ご参加頂きまして誠に有難うございます。

堀畑委員長はじめ35周年記念事業の実行委員会の皆様ならびに坂田会長ほか理事の皆様がこのような楽しい企画を実行して頂きまして本当に有難うございました。

また幹事さまからの案内などで北海道はこちらより寒いので服装などの注意ほか多々細やかな心遣いを頂きましてさすが堺北ロータリーだと思いました。

それでは最後になりますが、堺北ロータリークラブの今後ますますの発展と明日も1日、参加されている皆様が思い出深い楽しい旅を過ごせますように祈りつつ閉会の挨拶とさせていただきます。

本日は本当に有難うございました。

またお疲れ様でした。

「堺北ロータリークラブ35周年記念  
北海道一泊旅行に参加して」

広報委員 笹山 悦夫

堺北ロータリークラブ35周年記念行事の1つとして取り組まれた北海道一泊旅行は、わがクラブの友愛と団結を象徴する記念事業でした。

9月26日午前7時、会員25名とご家族30名、ファミリー会員2名の総勢57名が関西空港に元気に集合。会員はそれぞれ、奥様と、家族全員で、息子さんや娘さんと、或いは娘さんご夫婦と、又は父さんお母さんと、思い思いの方々と一緒に参加されました。

関空を離陸した飛行機は、約2時間で小雨の新千歳空港に到着。早々に特別仕様の60人乗り大型バスに乗り込み、昼食場所である洞爺湖有珠山ジオパークの「ウィンザーホテル」に向かいました。同ホテルは、洞爺湖と内浦湾を見下ろす最高級リゾートホテルとして知られ、2008年夏に主要国首脳会議（サミット）の会議場となった場所。当日、残念ながら霧に覆われ素晴らしい展望は叶いませんでしたが、昼食は最高で、まさに「昼食サミット」を存分に味わう楽しいひと時を過ごすことができました。

バスは午後4時には、登別温泉の「第一滝本館」に到着。同湯宿は登別温泉地獄谷に最も近く、登別温泉のすべてについてナンバーワンという老舗（従業員談）。確かに、7種類の温泉が1日1万トン湧き出すという溢れ出る温泉に浸かり、広々とした湯船からパノラマの地獄谷を展望するだけでも日頃の疲れが一気に解消するようでした。他の温泉地を凌ぐその豊富な温泉の湧出量と種類は、登別温泉の圧倒的な魅力だと思いました。

メインイベントである35周年事業の記念式典は、午後6時30分より開催されました。

先ず始めに、第1678回例会が開催され、「君が代」、「奉仕の理想」、「堺北ロータリーの歌」斉唱の後、家族紹介、出席報告、会長の時間、委員会報告が行われました。坂田会長は、一層「仲良く、元気で、明るい」クラブを目指してクラブ運営を行いたいと抱負を述べ、例会は簡潔に終了しました。

その後、35周年の記念式典に移り、堀畑好秀記念事業実行委員長が開会挨拶を行いました。(挨拶全文は別掲載)

堀畑実行委員長は、ロータリー発祥の歴史に触れ、「職業を通じて、胸襟を開いての何でも話し合える友人がほしい」とアメリカのシカゴ市内のビルの一室に集まった4人の職業人からロータリーが生まれたこと。

また、堺北ロータリークラブは、昭和55年10月8日に31人で創立され、10周年まで出席率100%の偉業を達成したこと。20周年では、独自の基金を設立し社会福祉協議会に広報車を寄贈したこと。そして、30周年には、大仙公園に河津桜を植樹したこと。

更に、平成6年から始まった仁徳陵清掃活動、今年で5回目を迎える「堺子ども囲碁フェスタ」、児童養護施設「清心寮」への支援活動、平成23年8月25日の台風12号による紀州半島大水害に対する献身的な支援活動、タイの子供たちへの浄水器寄贈活動など、この間の素晴らしい社会奉仕活動の実績によって数多くの人々との出会いと感動が生まれたことが報告されました。

最後に、ロータリークラブを通じて素晴らしい友愛の精神を培いながら、奉仕の理想に燃え、「ロータリーの道」を極めて行きたいと決意を語りました。

その後、坂田会長の判断により、35周年記念事業にあたりクラブ活動に功績を残し、又は貢献した会員に表彰状と感謝状が授与されました。

堀畑会員には、35年にわたり堺北ロータリークラブ会員の模範として常に例会や他の諸行事に出席された功績、池田会員には当クラブの経理事務においてご尽力された功績に対し表彰状が授与されました。また、中田会員には、当クラブの諸行事において常に率先して携わり、準備等を行ってきた多大な功績、笹山会員には、入会以来常に率先して例会場等の準備を行ってきた功績に対し感謝状が授与されました。

緊張の内にも例会及び記念式典が終了し、待望の親睦活動委員会主催による宴会が始まりました。

城岡親睦活動委員長は、挨拶で堺北ロータリークラブは特に家族を大切にする素晴らしいクラブであり、それがクラブの魅力と力の源泉になっていると強調しました。

また、乾杯の挨拶に立った山ノ内会員も、当クラブは会員・家族とも和気あいあいとした家庭的なクラブで、これもご家族の理解と協力のおかげだと感謝を述べました。

宴会は、まず、当日6歳の誕生日を迎えた会員のご家族をお祝いするパースデーケーキとパースデーソングから和やかに始まりました。食前にはスペシャル膳が用意され、アトラクションの「北海いでゆ太鼓」のダイナミックな演奏を聴きながら北海道の山海の幸を心ゆくまで堪能することができました。

宴もたけなわの頃、「のど自慢カラオケ大会」が始まり浜口会員、宇瀬会員、小西会員、米澤会員、城岡会員、北側会員が次々と登壇し、素人とは思えない持ち歌とパフォーマンスで会場は一気に盛り上がりました。城岡会員の河内音頭が始まると、会場から3人の奥様の飛び入りで華麗な踊りが始まり宴会は最高潮に。会員家族が一体となった宴会も、最後は全員輪になり「手に手つないで」を合唱し、盛会のうちに終了しました。

2日目は、午前9時に湯宿を出発、白老アイヌ民族博物館を訪れ、アイヌの生活習慣や文化、歴史について学びました。ただ残念だったのは、時間がなくてアイヌの民族舞踊が観賞できなかったこと。その後、札幌に向かい市内見学とサッポロビール園で昼食のジンギスカン料理とビールを楽しみました。最後に、小樽を訪れ各自市内観光や裕次郎記念館を見学し、午後6時ごろには新千歳空港に到着。現地での流れ解散となり、北海道一泊旅行は大きな成果を収め無事終了すこととなりました。これまでの準備と手配に奔走していただいた実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。

堺北ロータリークラブ35周年記念行事の1つとして取り組まれた北海道一泊旅行は、多くの会員・ご家族の参加によって有意義な記念事業となりました。会員同士が日頃ゆっくと胸襟を開いて話ができない中で、日帰り旅行ではなく、記念行事の一泊旅行にしたことで会員同士、また家族同士の交流と新たな親睦の輪が大きく広がり、深まりました。堺北ロータリーの魅力がいかんなく発揮された実り多い「友愛と団結」の記念すべき事業だったと思います。





# 35周年記念 北海道旅行

2015年9月26日(土)～27日(日)



記念撮影



藤永会員ご子息様へ  
サプライズバースディプレゼント！！



表彰状 池田会員



宴会の一幕 中川会員御家族



凄い迫力でした！「北海道太鼓ショー」



堀畑実行委員長「開会の挨拶」

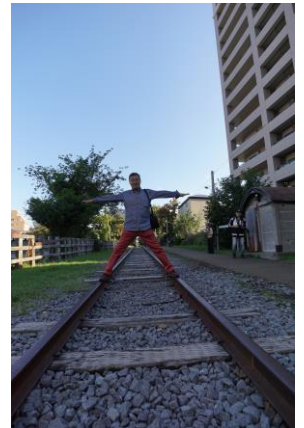




アイヌ民族博物館にて見学。アイヌの文化に触れ、楽しかったですね。  
「イヤイライケレ！」（アイヌ語で有難うございました）



ウィンザーホテルにて昼食



小樽観光 写真組は運河と北海道最古の鉄路「手宮線」跡を散策。綺麗な景色です。



サッポロビール園にて2日目の昼食。  
皆さんビールもマトンもたくさんお替わりしました。ほんと美味しかったです！！  
（北海道のソフトクリーム、全員で何個食べたでしょうか。100個以上?!）